



(大西公園のさくら)

2006
4

広報

No. 179

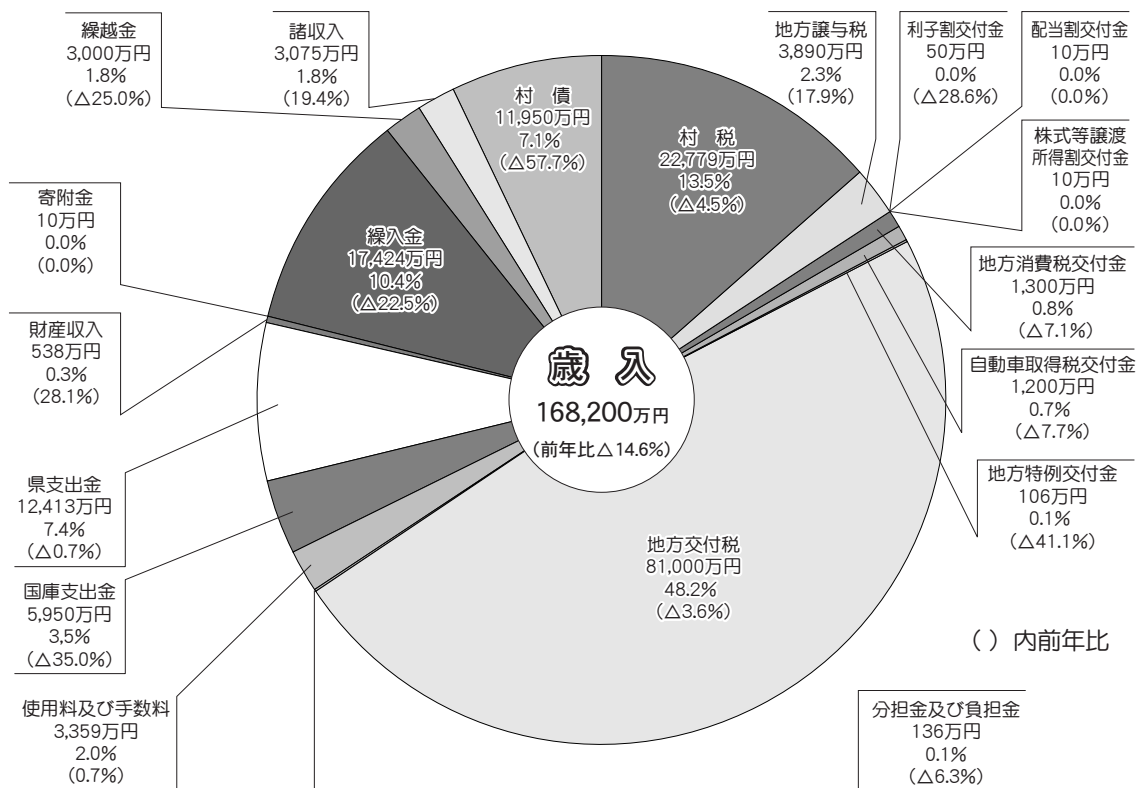
おおしか

◇平成18年4月発行/大鹿村役場 ◇印刷/龍共印刷株式会社

平成18年度

村の予算

平成18年度一般会計予算及び特別会計予算が新たな体制のもと、3月定例村議会に上程し、可決されました。
一般会計予算は、歳入歳出共、16億8,200万円となり、前年度当初予算に比べ額では2億8,800万円、率では14.6%の減となりました。



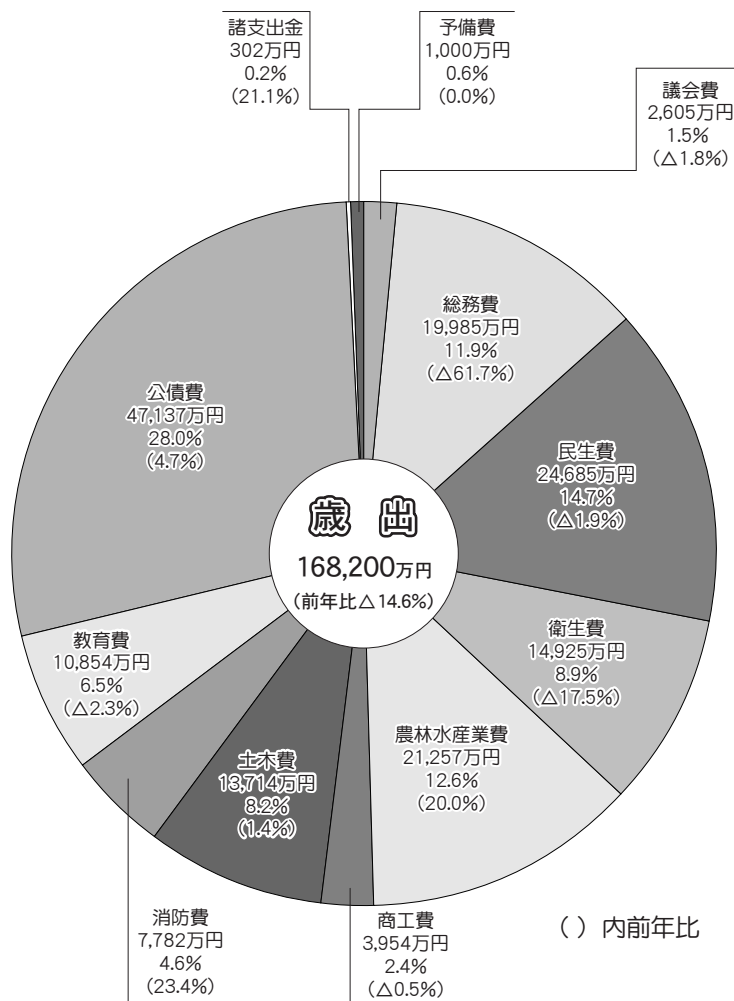
歳入

歳入では、村税は国有資産等所在市町村交付金と村民税の減少により減額、国からの税源移譲により譲与税及び交付金の増額を見込みました。地方交付税は国勢調査人口の減及び積算根拠の見直しにより減額と見込み、国・県支出金と基金からの繰入金及び過疎対策事業債は補助事業の完了等により減額となりました。

一般会計の歳入内訳表

歳入	予算額 (単位: 万円)	主 内 容
村 税	22,779	○村民税○法人税○固定資産税○軽自動車税○村たばこ税○入湯税
譲与税・交付金	6,566	○国・県税の一部を基準に基づき譲与・交付されるもの
地方交付税	81,000	○県及び市町村が標準的な一定水準の行政事務を遂行するために必要な経費のうち、村税・譲与税・交付金等の収入見込み額で賄えない財源不足額について国税を一定割合の額で公平に補填するもの
分担金及び負担金	136	○老人施設入所者負担金
使用料及び手数料	3,359	○CATV使用料○保育所使用料○牧場・家畜診療所使用料○村営・教員住宅使用料○博物館使用料○燃やすごみ処理手数料
国庫支出金	5,950	○身体障害者保護費○児童手当○老人保健事業費○合併浄化槽設置○村道・林道・道整備交付金○民俗文化財伝承・活用事業
県支出金	12,413	○身体障害者保護費○授産所施設事務費○電源立地地域対策交付金○地籍調査事業○在宅福祉事業○福祉医療費○国保・老人保健事業○合併浄化槽設置○中山間地域等直接支払交付金○野生鳥獣共存の里づくり事業○林道開設・改良・舗装事業○造林・間伐事業○信州ビジネス振興対策アクション事業
財産収入	538	○村有土地建物貸付収入○基金利子
寄 附 金	10	○歌舞伎寄付金
繰 入 金	17,424	○減債基金○公共施設等整備基金○森林整備基金
繰 越 金	3,000	○前年度繰越金
諸 収 入	3,075	○分収造林受託事業○授産所施設受託収入○砂利採取協力金○介護給付費
村 債	11,950	○過疎対策事業債○臨時財政対策債
計	168,200	

歳出



歳出では、人件費が制度改正等見直しにより一、四百三十九万円（四・六％）の減額、普通建設事業費では森林造成事業で一、九百三十八万円（七十六・三％）の増額や林道大萱線の完成と改良事業により一、二十五万円（十二・七％）の増額となっています。

ソフト面では「日本で最も美しい村」推進事業や都市へのPR事業と交流事業、森と環境を考える委員会活動による森林づくり及び農地・水・環境保全向上対策の周知や推進等が計画されています。

各会計予算概要

(単位：万円)

会 計	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	増 減 額	増 減 率 (%)
一 般 会 計	168,200	197,000	△ 28,800	△ 14.6
国民健康保険特別会計	14,609	13,079	1,530	11.7
診療所特別会計	12,078	11,156	922	8.3
村営水道特別会計	8,560	10,669	△ 2,109	△ 19.8
老人保健医療特別会計	21,679	22,296	△ 617	△ 2.8
介護保険特別会計	15,514	15,298	216	1.4
合 計	240,640	269,498	△ 28,858	△ 10.7

一般会計の費目別主要事業

歳 出	予算額 (単位：万円)	主 な 事 業 名
議 会 費	2,605	○議会運営
総 務 費	19,985	○長野県知事選挙○村外通勤者補助○交通安全対策○地籍調査事業○指定統計調査○「日本で最も美しい村」推進事業
民 生 費	24,685	○高齢者生活福祉センター運営○在宅介護支援センター運営○介護保険事業○デイサービス運営・ヘルパー派遣委託○障害者自立支援費事業○授産施設運営事業○保育所運営事業○福祉医療○児童手当○児童クラブ事業
衛 生 費	14,925	○各種検診事業○し尿・ごみ処理事業○合併浄化槽・生ゴミ処理機設置補助○環境パトロール○患者輸送車運行事業
農林水産業費	21,257	○獣害防止対策○家畜診療所運営事業○野生鳥獣共存の里づくり事業○林道開設・改良・舗装事業 ○造林・間伐事業○中山間地域等直接支払事業
商 工 費	3,954	○観光情報の受発信○村路線バス運行委託○観光施設運営・管理・イベントの実施○商工会・観光協会補助○商工会商品券発行補助
土 木 費	13,714	○村道、林道改良舗装事業○村営・公営住宅管理運営
消 防 費	7,782	○常備・非常備消防業務○山岳遭難救助業務○消防施設整備事業
教 育 費	10,854	○小中学校教育○高校通学補助○歌舞伎伝承事業○文化施設管理運営○公民館活動事業
公 債 費	47,137	○長期債償還元金・利子
諸 支 出 金	302	○基金利子積立
予 備 費	1,000	
計	168,200	

平成18年3月

大鹿村議会定例会報告

三月大鹿村議会定例会が三月九日から十六日まで、八日間の会期で開催されました。付議事件二十三件、請願二件が上程され、付議事件は原案どおり可決されました。請願は二件とも採択され、議員発議により意見書の提出が可決されて、上局に提出されました。また、一般質問は、二人の議員からありました。

付議事件

議案第一号 大鹿村分課条例の制定について

議案第六号 大鹿村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第二号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第七号 大鹿村若者定住促進条例の一部を改正する条例の制定について

議案第三号 大鹿村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第八号 大鹿村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第四号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第九号 公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の制定について

議案第五号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第十号 平成十七年度大鹿村一般会計補正予算（第六号）について

議案第十一号 平成十七年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算（第三号）について

議案第十二号 平成十七年度大鹿村立診療所特別会計補正予算（第三号）について

議案第十三号 平成十七年度大鹿村営水道特別会計補正予算（第三号）について

議案第十四号 平成十七年度大鹿村老人保健医療特別会計補正予算（第三号）について

議案第十五号 平成十七年度大鹿村介護保険特別会計補正予算（第二号）について

議案第十六号 平成十八年度大鹿村一般会計予算について

議案第十七号 平成十八年度大鹿村国民健康保険特別会計予算について

議案第十八号 平成十八年度大鹿村立診療所特別会計予算について

議案第十九号 平成十八年度大鹿村営水道特別会計予算について

議案第二十号 平成十八年度大鹿村老人保健医療特別会計予算について

議案第二十一号 平成十八年度大鹿村介護保険特別会計予算について

議案第二十二号 南信州広域連合が処理する事務の変更及び南信州広域連合規約の変更について

議案第二十三号 長野県林業公社契約造林地の契約の解除について

請願

○出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書の提出について

○へき地手当削減提案の撤回とへき地教育の振興を求める意見書の提出について

発議

発議第一号 出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書の提出について

発議第二号 へき地手当削減

提案の撤回とへき地教育の振興を求める意見書の提出について

一般質問

「松下 隆夫議員」

*財政研究会の村長への意見について

（村長） 意見の中身を予算編成会議で職員に伝え、意見十六項目のうち十二項目を参考にし、四項目は今後も検討していくことにした。検討の結果が出次第表していきたい。
*全村民参加の村づくりについて

（村長） 職員よりの提言を受け、四グループで村づくりの検討をした。この結果を広報して住民の意見を聞く機会を考えた。

「熊谷 英俊議員」
*十八年度一般会計予算と財政見通しについて

（村長） 当時の財政予測より交付税は増えている。歳出はそれ以上に削減を図っているし、単に人減らしをすることは過疎を進めてしまうし投資を減らすと冷え込んでしまう。健全財政は維持していく。

*CATVの番組内容の充実について

（村長） 色々な意見があること

議 会 だ よ り



は聞いているが、希望どおりにはいかないところもある。
（総務課長） 文字放送に音声を入れることはシステム上不可能です。北部ブロック内での番組の共有など検討していきます。
＊映画「村歌舞伎一代（仮題）」について
（村長） 映画化の話は懇談会でやってきたし上下伊那全域で宣伝している。
 作品の使用については、覚書を交わし、村での利用は可能にしたい。
 村内へのPRはこれからです。
＊南アルプスの環境保全と活用について
（村長） 小渋の登山道整備は金もかかるし、危険が伴う。いま高山植物が鹿の被害により荒れてきている、保全について上局へ働きかけをしたい。

平成18年度 村の単独補助事業等の改正について

平成18年4月より、村が単独で行っている補助及び各種事業が次のように改正されます。

事業名	17年度	18年度
消防団員年報酬	年 15,200円	年 16,000円
出産祝金	第3子のみ20万円	第1子2万円、第2子5万円 第3子以上8万円
福祉医療費支給対象（乳幼児（就学後））	小学校入学から卒業まで	小学校入学から中学校卒業まで
寝たきり老人等介護慰労金	月額6,000円	月額5,000円
高齢者生活福祉センター使用料	6,000円から12,000円	7,000円から13,000円
デイサービスセンター及びショートステイ食事代補助	デイサービス200円／食 ショートステイ720円／食	デイサービス100円／食 ショートステイ360円／食
配食サービス	委託により実施	廃止
有害鳥獣駆除報償金	鹿 1頭 9,000円	鹿 1頭 8,000円
公民館、交流センター冷暖房使用料	無料	使用内容により500円から4,000円

平成18年度予定事業

担当課	担当係	事業名	工事箇所
産業建設課	管理係	地籍調査事業	上蔵・釜地区
産業建設課	農林係	森林造成事業	村有林・北川作業道・大池作業路
産業建設課	建設水道係	村単牧道維持工事	北川牧道
産業建設課	建設水道係	村単土地改良工事	下島井水
産業建設課	建設水道係	林道開設事業	林道 大萱線（西山）
産業建設課	建設水道係	林道改良事業	林道 中峰黒川線（上金）
産業建設課	建設水道係	村単林道防災工事	林道 鳥ヶ池線（キャンプ場上部）
産業建設課	建設水道係	村単林道維持工事	林道 大萱線
産業建設課	建設水道係	村単林道交通安全施設工事	林道鳥倉線
産業建設課	建設水道係	道路改良事業	村道 梨原線（梨原）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 河合線（河合）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 沢戸線（沢戸）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 中峰線（沢井）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 上市場線（上市場）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 宮沢線（香松寺上）
産業建設課	建設水道係	村単道路改良工事	村道 塩原線（塩原）
産業建設課	建設水道係	村単道路防災工事	村道 沢井線（3箇所）
産業建設課	建設水道係	村単道路防災工事	村道 梨原沢井線

国道一五二号

新小洪橋が完成

開通式を四月二十六日(水)開催

長野県飯田建設事務所が建設を進めていました国道一五二号新小洪橋の架け替えが終了し、前後の取付道路として大鹿小学校入口～下青木薬師堂先までの区間の道路改良が完成しました。

建設にあたっては、国・県関係の皆様や土地・家屋所有の皆様にも多大なご理解とご協力をいただき完成することができました。深く感謝いたします。

新小洪橋は長さ一一五m、幅員八mで二車線です。歩道は幅二・五mで赤石岳を見る側に整備されました。

村では、新小洪橋の完成を祝って開通式及び祝賀式を四月二十六日に開催します。当日は国・県関係者や地権者をお招きし、午前十一時から新小洪橋下市場側でテープカットの後、渡り初めを行います。多くの皆様のご参加をお願いします。



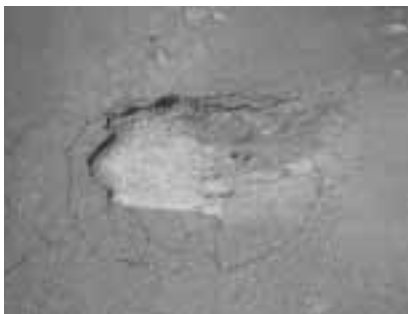
建設係だより

平成18年
4月号

役場建設係よりお知らせをいたします。

日ごろ、村の建設行政に深いご理解とご協力をいただいていることに対しまして深く感謝申し上げます。17年度より舗装の簡易修繕を村民の方にはお願いをしておりますが、次のような点についてご留意の上ご協力をお願いします。

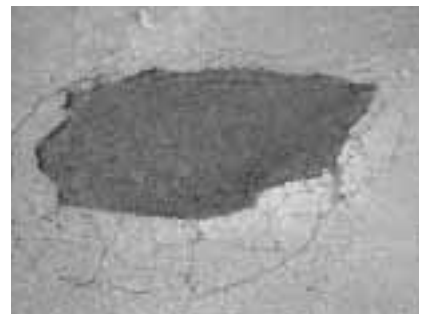
(1) 道路維持費の軽減のため、小規模の舗装の傷みには、舗装補修材を利用し、補修をしていただくようお願いいたします。役場の倉庫に常時保管してありますので申し出ただけであればお渡しいたします。使い方は、①痛んだアスファルトや砂等を取り除き、ほうきできれいにしてください。②それから、補修材を適量な量をあけてスコップや「かけや」などで少しずつ転圧してください。③しっかりと固めるためには根気よくやるのが重要です。以下写真で説明します。



(舗装補修前)



(補修材投入)



(舗装補修完成)

(2) 冬期の道路凍結防止のため、塩化カルシウム(塩カル)を各路線に配布してありましたが、春先になり道路上に放置することで固硬化して本年の冬に使用できないことがあります。自治会長会でもご依頼申し上げますが、自治会長さんを通じ各地区の保管場所にお戻しいただきますようお願いいたします。気がつかれた方は、自治会長さんへご連絡ください。

返品先は、大河原地区が大鹿倉庫前、鹿塩地区が塩の里向かいの保管場所です。

(3) 道路、河川等公共施設の破損が生じて村での修繕の要望がございましたら、できる限り自治会長さんを通じて自治会要望としてお出しいただきますようお願いいたします。



税 務 だ よ り

平成18年 4 月号

平成18年度 村税等の課税月一覧

課税月 税目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	備考
個人 村・県民税	普通徴収			1 期			2 期	3 期			4 期			年 4 回
	*特別徴収	11 期	12 期	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期	8 期	9 期	10 期	毎 月
固定資産税			1 期		2 期				3 期			4 期		年 4 回
軽自動車税		1 期												年 1 回
*国民健康 保険税		1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期	8 期	9 期	10 期	11 期	12 期	毎 月

* 個人住民税の特別徴収は、会社勤めの方で毎月の給与から源泉税等を天引きされている方です。（特別徴収の場合は、6月から翌年5月までの12ヶ月が1年分の課税月となります。網掛け部分は、前年分となります。）

* 国民健康保険税は、4月から6月まで 暫定、7月に本算定となり年間の額が確定されます。

バイクや自動車を譲渡・廃車したときは・・・

○自動車税・軽自動車税は、4月1日現在の車・バイク等の所有者に課税されます。

○車の売買・譲渡・廃車をしたときは、早めに名義変更や廃車の手続きをして下さい。また、引っ越して住所が変わったら、住民票の手続きだけでなく、クルマの変更手続きもしましょう。

軽自動車税の身障者等減免申請は4月24日(月)までです。

○役場（税務係窓口）にある申請用紙により、期限内に申請をお願いします。

（*身障者手帳・運転免許証・車検証・印鑑を忘れずにお持ちください）

◎村税等のお支払は・・・便利な口座振替をご利用ください。

口座振替は預金口座から自動的に払い込まれるため、納期のたびに金融機関等へ行く必要が無く、また払い忘れがありません。納付の確認は通帳記帳によりできます。

【取扱金融機関】 JAみなみ信州、飯田信用金庫、郵便局

【申し込み手続き】 役場または取扱金融機関に申込書がありますのでご利用ください。

介護保険料がかわりました

○平成18年度～20年度の介護保険料は、下記のとおりです。

基準月額 3,000円（第4段階）

*前年所得により保険料段階がかわります。

○4月～6月までは、現在の保険料で納めていただき、年金から差引されている方は、10月から、納付書（現金）で納入されている方は、7月から新しい保険料で納めていただきます。（7月以降に4～6月の暫定分を調整します）

○平成18年度から遺族年金、障害年金からも年金差引（特別徴収）されます。

○普通徴収（年金から差引されない方）の口座振替日を25日に変更します。

地域包括支援センターができました

○4月から「地域包括支援センター」ができました。

○地域包括支援センターでは高齢者の介護予防全般の業務を行います。具体的な内容は次のとおりです。

総合相談支援

高齢者の皆さんやその家族などから様々な相談を受けます。

権利擁護

高齢者虐待への対応など、高齢者のみなさんの権利を擁護します。

介護予防ケアマネジメント

要介護認定において要支援1・2と判定された方や、介護が必要になるおそれのある方のケアプランの作成を行い、一定期間後に効果を評価します。

包括的・継続的ケアマネジメント

介護に携わる方々への支援・助言や、医療機関などとの調整を行います。

場所：保健福祉課内
電話：39-2268

○介護などに関することは「地域包括支援センター」へお気軽にご相談ください。

在宅福祉事業の一部が変更となりました

介護保険法等の改正により、在宅福祉関係の国や県の補助金が廃止、縮小等により大鹿村についても次の事業を廃止及び縮小しました。

○配食サービス事業を廃止しました。

○家族介護用品支給事業で要介護4・5（非課税世帯）の支給金額（現物支給）を年60,000円へ変更しました。



役場組織の改定のお知らせ

役場では、この4月から事務の見直しにより、事務取り扱いが次のように変わりましたのでお知らせします。不慣れなためご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、ご協力をお願いします。

*課名の変更 住民課を住民税務課に変更

*取り扱い業務の変更



税 務 事 務

地 籍 調 査

国民健康保険、老人保健

国 民 年 金

児童手当、福祉医療

村 営 水 道

村 営 住 宅

交通安全事務

総務課から 住民税務課へ

産業建設課から 住民税務課へ

住民課から 保健福祉課へ

住民課から 保健福祉課へ

住民課から 保健福祉課へ

住民課から 産業建設課へ

住民課から 産業建設課へ

総務課から 産業建設課へ



なお、別に「大鹿村職務分担表」を配布しますので、ご利用ください。

平成十七年 人事異動

小学校関係

転入

宮澤 賢司

(伊那教育事務所 教育支援主事)

池上 美香子

(飯田市鼎小学校)

久保田 治子

(岡谷市長地小学校)

西澤 理恵

(塩尻市塩尻西部中学校)

転出

青沼 務

(上田市上田第一中学校)

久保 多美枝

(茅野市永明小学校)

野口 浩子

(松川町松川中央小学校)

中村 明日香

(木曽町福島中学校)

中学校関係

転入

平田 泰文(飯田養護学校)

宮澤 裕美(飯田養護学校)

水野 直昭

(長野市北部中学校)

米山 美鈴

(飯田市丸山小学校)

安部 元彰
(飯田市飯田東中学校)

唐沢 理英 (新任)

転出

下平 富士雄

(清内路村清内路中学校)

高山 圭太

(松本市筑摩野中学校)

竹松 千寿

(大阪府高槻市内中学校)

木下 美代子

(飯田市鼎小学校・矢高共同調理場)

宮澤 美夏

(退職)

牧野内 信巳

(退職)

役場関係

三月三十一日付

退職

小室 雅和(住民課生活環

境係)

派遣研修終了

宮島 悟(南信州広域連合

飯田広域消防本

部高森消防署

山門 宏一(長野県佐久地

方事務所へ)

四月一日付

派遣研修

武井 新彦（長野県経営戦
略局より）

永瀬 智宏（長野県木曾地
方事務所より）

小原 清之（南信州広域連
合飯田広域消防
本部より）

農業改良普及員

柳澤 俊一（長野県農業
大学より）

転出

篠田 秀明（長野県病害
虫防除所へ）

異動

住民税務課長
大島 博人（教育長職務
代行者）

保健福祉課長兼福祉係長兼
大鹿保育所長

松澤 武裕（住民課長兼
生活環境係長）

教育長職務代行者

島崎 英三（保健福祉課
長兼福祉係長兼
保育所長）

保健福祉課長補佐兼包括支
援センター係長兼務

神崎 あさ子（保健福祉
課在宅支援セン

ター係長）

住民税務課長補佐兼務
中山 和子（会計係長）

産業建設課建設水道係長
森上 安弘（産業建設課
建設係長）

住民税務課管理係長
古瀬 嘉昭（産業建設課
管理係長）

産業建設課振興係長
下澤 一彦（総務課企画係長）

住民税務課住民係長
足助 義則（住民課住民係長）

住民税務課税務係長
岩間 洋（総務課税務係長）

住民税務課税務係
中村 章映（住民課住民係
総務課企画係
足助ちづる（総務課税務係）

産業建設課建設水道係
宮坂 浩二（産業建設課管理係）

住民税務課管理係
多田 一郎（産業建設課農林係）

保健福祉課保健医療係
後藤 慎治（総務課企画係）

大鹿中学校給食
宮崎美智子（大鹿保育所給食）

大鹿保育所給食
供野 正子（大鹿中学校給食）

入江 文子（新規）

大鹿村授産所

退職

本田 ひろみ

新規

木間 こずえ

新規採用

産業建設課
松澤 桃子

臨時職員退職
葛西 綾乃

国土交通省

天竜川上流河川事務所

小渋川砂防出張所

転出

岡本 明（天竜川ダム統合管
理事務所美和ダ
ム管理支所へ）

転入

上山 浩司（庄内川河川事
務所より）

小渋川治山事業所

転出

依田 直紀（中信署白馬森
林事務所へ）

転入

佐野 智一（南木曾支署より）

大鹿村駐在所

転出

高見澤 昇（飯田警察署へ）

転入

大和 康樹（松本警察署岡
田駐在所より）

日本郵政公社

大鹿郵便局

転出

平田 正彦（喬木郵便局へ）
井口 克二（大島郵便局へ）

新規

宮下 直樹

退職

鹿塩郵便局
山崎 富男

池戸 三郎（阿智郵便局より）

消防団関係

団 長 松尾 勲

副団 長 森下 敏彦

本 部 長 菅沼 穰二

分 団 長 筒井 健一

副分団 長 平瀬 定雄

副分団 長 板山 浩

機 関 長 足助 義則

ラッパ 長 田中 康啓

救 護 長 下原 孝生

第一班 長 釜村 孝一

第二班 長 宮坂 浩二

第三班 長 木下 雅志

（社）日本損害保険協会 関東支部

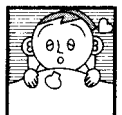
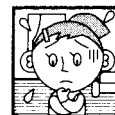
松本自動車保険 請求相談センター

相 談 日 月曜日～金曜日（祝日を除く）
9:00～12:00・13～17:00
弁護士相談日 毎月第2～4木曜日 13:00～16:00
（予約制・相談無料・要面談）

専門の相談員がご相談に応じます・損害保険一般のご相談も受付します

相談
無料

TEL:直通0263-35-7790
<http://www.sonpo.or.jp>



～どうしよう、って思ったらまずは、ご相談ください

お世話を願っています

新規採用 松沢桃子



この春から大鹿村役場でお世話になるようになりました「松沢桃子」です。

生まれてからずっと、上青木に住んでいますが、まだまだ知らないことが多いです。ここ大鹿村の良い所をひとつでも多く村外の方に知ってもらいたいなあと思っています。

慣れないことばかりで、皆様にご迷惑をおかけすると思っています。

少しずつ覚えていきたいと思っていますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

県職員派遣研修 武井雅彦



県の研修派遣で二年間お世話になることになりました。

県では、政策の流れを地域発のものに変えていくため、職員が現場での的確な認識に

基づき、迅速な行動で課題を解決していくことを重視しています。

日本でもっとも美しい村で、地域の皆様とともに自律的な地域づくりに参加してまいりたいと考えています。

ご指導をよろしくお願いいたします。

県職員派遣研修 永瀬智宏



長野県から研修派遣として役場の

産業建設課でお世話になります。三月までは木曽地方事務所林務課で林業改良指導員をしております。

八年前には下伊那地方事務所におりましたので大鹿村は初めてではありませんが、役場職員としては不慣れな点も多くご迷惑をおかけする事もあるかと思っています。できるだけ早くみなさんにおぼえていただき、勉強させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

飯田広域消防派遣研修 小原清之



広域消防より研修派遣として役場

総務課でお世話になっております。

三月まで飯田市の伊賀良消防署で、警防・救急活動を主に現場に出ておりました。

こちらでは、まだまだ慣れずご迷惑をおかけしていることと思いますが、南アルプスと歌舞伎の村、そして自然豊かなこの村で、村民皆様の声をいただき、行政を学んでいきたいと思っていますので、前任者と同様によりしくお願いします。

農業改良普及員転入 柳澤俊一



この度、篠田普及員の後任として

お世話になることになりました柳澤です。

生まれは佐久市、結婚してからは東御市(旧北御牧村)に住んでいましたので、南信方面は初めてですが、歴代の大鹿村駐在普及員には東信出身者が多く、荒木普及員は隣

の集落ですし、前任地の県農業大学校では隣の職場に出沢普及員がいました。

皆さんのお役に立てるようがんばりますのでよろしくお願いいたします。

お世話になりました

県職員派遣研修終了 山門宏一



派遣研修職員として一年十一月

と短い期間でしたが、役場の林業関係の仕事だけではなく消防団等多くの大鹿村の皆さんのお世話になり、多くのことを学ぶことができました。

四月から県の佐久地方事務所での勤務を命じられ、大鹿村とは違った環境での仕事となりますが、ここで学んだことを活かしていきたいと思っています。

本当にお世話になりました。

飯田広域消防派遣終了 宮嶋 悟



研修職員として二年間、大鹿村の

大自然のなか、心穏やかな人達に触れながら行政を学べたことに心から感謝しています。

私にとって、大鹿村で学んだことは、今後仕事をする上で大きな財産になることだと思います。

大変お世話になりました。

農業改良普及員転出 篠田秀明



駐在普及員として三年間、大変

お世話になりました。

自然と歴史文化、そして心穏やかな村民の皆様に恵まれた地域での普及活動は、大変有意義なものでありました。

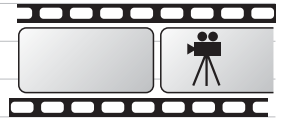
四月から病虫害防除所勤務となりますが、大鹿村で学んだ経験を財産として、今後の職務に活かしてまいりたいと考えております。

最後に、大鹿村のますますのご発展と、皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。転勤のあいさついたします。ありがとうございます。

—— 信州の荘厳なる山々を舞台に熱き歌舞伎魂が鼓動する ——

長編劇映画「村歌舞伎一代」

この春 撮影スタート



伊那谷に、230年の歴史を持つ農村歌舞伎が大鹿村・長谷村・下條村の3村に継承されています。この伊那谷を舞台に、映画監督 後藤俊夫氏により農村歌舞伎が映画化され、伝統芸能の素晴らしさや大切さが、全国に発信されます。

あらすじ

信州伊那谷の伊那路村。江戸時代から230年も続く村歌舞伎が、若者たちにより引き継がれている村である。

村歌舞伎を愛し木地師を生業とする半次と孝夫、浄瑠璃師匠の養女歌子は、それぞれの境遇を超え幼い頃から互いに強い絆で結ばれていた。昭和19年19歳になった半次らに、繰上げ召集の令状が届く。孝夫と歌子は仮祝言をあげ、村の若者達は「お名残狂言」を最後に出征する。

終戦を迎え、半次らはシベリアのラーゲリに収容される。極寒の地での飢えと過酷な労働、病に倒れた同郷の政男は、故郷を夢見て死んでいく。何としても生還したい半次と孝夫は果てしない凍土へと脱走。しかし生還したのは半次ただ一人だった。

戦争で多くの若者を失った村は荒れ、村歌舞伎は消えていた。半次は養父を亡くし借金を抱えていた歌子と共に村歌舞伎に取り組み始める。村と歌舞伎に復興の兆しが見えはじめた折、失明した孝夫が帰還する…。

戦友の死や遺言を背負い鎮魂のため踊り続けた男の一生が、美しい信州の風光の中に描かれていく。

【監督／後藤俊夫】

1938年長野県伊那市生まれ。1962年立教大学社会学部卒業。新世紀映画株式会社入社。山本薩夫監督に師事し、『こむぎいろの天使一雀と少年』（78・青銅プロ）で監督としてデビュー。同作品で動物愛護映画コンクール内閣総理大臣賞、モントリオール国際児童映画フェスティバルグランプリを受賞。その後、『マタギ』（82青銅プロ）で芸術選奨新人賞、ベルリン国際映画祭ユニセフ監督賞を受賞。『イタズ』（87東映）は、文部省特選、文化庁第三回芸術作品賞を受賞。『オーロラの下で』（90東映）は、興行的にも大成功を収めた。



大集合!! とびきり元気な子供たち 子役オーディションが行われました

3月11日(飯田市)、12日(伊那市)で主人公の幼少時代やそのクラスメート等、映画の各所に登場してくれる子役のオーディションが行われました。集まったのは、伊那谷を中心とする小学校1年生から中学3年生までの子供たち170人余。みんな緊張しながらも、「主役をやりたい!」とやる気満々の元気な子供たちでした。子役の発表は、近々本人宛に郵送で行われます。



伊那谷の撮影地は……

ロケーション・ハンティング開始

3月13日、長谷村を皮切に映画の撮影候補地を選定するための、ロケーション・ハンティングを開始しました。大鹿村は2日目の14日に大磧神社、鹿塩神社等の舞台をはじめ、鳥倉林道、釜沢集落、松下家、塩泉院等を回りました。4月までかけ、伊那谷中の町村内の候補地を、監督、現場プロデューサー、撮影担当などのスタッフがロケハンで回っています。大鹿村の美しい風景が、より多くスクリーンを通して、より多く全国に広がるといいですね。

るくべん館だより

『久原のあしあと』Vo 1・6

雪が降る時期に小渋線を車で走ると、川を挟んだ対岸の山に、小渋線と平行して真っ直ぐにどこまでも続く線が刻まれているのが見える。これは昔トロッコが走っていた軌道のなごり。

トロッコが使われていたのは、今の小渋線が開かれるよりもはるか以前の話である。大鹿の青木谷奥から伐り出された木材を製材し、それを当時生田村の部奈まで運び出すのに使われていた。その製材事業を大正六年から昭和四年にかけて、この地で大々的に展開したのが、『久原』の名で親しまれた久原鋳業株式会社であった。

では『久原』とは一体どんな会社だったのだろう。

事業主である久原房之助は、それまでに秋田の小坂鋳山や茨城の日立鋳山の採掘で成功を収め、『鋳山王』と呼ばれていた人物である。彼の事業は日本国中ばかりか海外にまで及び、マレーシア(当時ボルネオ)でゴム園を営んでいた時代に造った「クハラロード」という名の道路が、今でも残っているそうである。

久原の事業の特徴は、新しい経営思想、近代的な技術力、そして大資本を背景に急速かつ大規模に展開されることだった。また彼は従業員の福利厚生に金を惜しまず、衣食住に困らぬような方策を実施し、ともすれば気の荒い従業員たちが飲酒や賭博に溺れて争い事が起こるのを牽制するために、

娯楽施設を造ることも忘れなかった。住宅料や光熱費などの住居に掛かる費用は無料、米の値段を上げない、食料品や日用品は市価より安く供給所で販売、しかも掛売りにするなどの生活安定策を施し、従業員と家族の慰安のために芝居、活動写真、踊り、浪曲などの演芸を催した。小坂鋳山や日立鋳山に建てられた木造の芝居小屋は今でも名所となつて残っている。

小坂鋳山時代から彼が理想としたのは、自分が事業を展開する土地にユートピアを築くことだった。浮世の荒波と離れ、労使や地域との対立のない渾然一体となつた世界を創り上げることだったのである。

なんとも羽振りの良い経営であつたが、もともと多額の投資や甘い経理に加え、大正十二年の関東大震災で決定的な打撃を受け、久原は財界で次第に食い詰めて行き、昭和三年には名称を久原鋳業から日本産業株式会社と変え、妻の兄である鮎川義介に事業を譲って彼は今度は政界へと進出するのである。鮎川が譲りうけた事業は、後に日産コンツェルンへと発展してゆくのだが、それはまた別のおはなし。

久原にとつては大鹿での事業はちっぽけなものであつたのかもしれない。しかし大鹿の人々にとつては、これほどの大事業を見たのは後にも先にも例がないくらいだったに違いない。また電気の引かれていなかった村に、そこだけは水力発電が行われ、工

場の機械の動力源となり、夜になれば青木の谷に煌煌と明りが灯った。青木谷奥から軌道が敷設され、どんどん伐り出される良材は安康の貯木場、下樽渡の製材所を経て、建材となつて村の外へとトロッコで運ばれた。難所といわれていたところもダイナマイトで吹き飛ばし、川にはいくつもの橋をかけ、トロッコは大鹿の森林資源を運び出した。財力というものをいやという程見せつけられた時代ではなかっただろうか。

村の子供が粗末な着物にわら草履で学校に通っていた時代、久原の子供は洋服に靴を履いていた。自分は白米飯の弁当を食べる一方で、「おからだけの友達がいて可哀相だ」とは、久原で子供時代を過した人の回想である。

久原のいた時代、大河原の商店街や学校はつかの間の賑わいをみせた。しかし久原が去つた後、大鹿に残されたものは、トロッコの軌道の跡と伐り尽くされ丸裸になつた山ばかりだったのでないだろうか。

去年の夏、「私の父は久原で仕事をしていたので、私も子供の時は大鹿に住んでいたんです。」という年配の方がるくべん館を訪ねていらした。この原稿を考えている最中にその方から電話が掛かって、桜の花の時期に再訪したいとのことだった。今度は久原当時の記憶についてゆっくりお聞きしたいと思っている。

あんなこと こんなこと カメラリポート

3月24日
▶ 保育所卒園式



3月17日
▼ 中学校卒業式



3月16日
▲ 小学校卒業式



歌舞伎発表会
3月11日



消防団春季総合訓練
4月2日



4月5日
▶ 中学校入学式



4月5日
▶ 小学校入学式



4月4日
▶ 保育所入園式

村の行事予定

4月

- 4月4日 その他紙回収
- 4月5日 ダンボール回収
- 4月6日 廃プラスチック回収
- 4月11日 空缶と鉄類回収
- 4月20日 廃プラスチック回収
- 4月24日 ポリオ接種
- 4月26日 新小渋橋開通式
- 4月29日 河川一斉清掃
- 4月下旬 育林祭
- 4月下旬 自治会長会

5月

- 5月10日 びん類・ペットボトル回収
- 5月11日 廃プラスチック回収
- 5月18日 チラシ・雑誌等回収
- 5月25日 廃プラスチック回収
- 5月30日 その他プラスチック回収
- 5月下旬 埋立ごみ回収
- 5月下旬 麻疹・風疹予防接種
- 6月上旬 南アルプス大鹿登山口開山式
- 6月6日 その他紙回収
- 6月8日 廃プラスチック回収
- 6月13日 空缶と鉄類回収